「日々の理科」(第2497号) 2021,-5,15 水彩画教室「夕暮れの木立」 お茶の水女子大学附属小学校教諭 お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員 田中 千尋 Chibiro Tanaka

タ暮れの雲は 何度描いても面白いです 同じ場所から見た雲でも 二度と同じ雲は現れないからでしょう 特にその手前に 木々のシルエットがあると 尚良いです すっかり真っ暗になるまで すっと眺めていたくなります



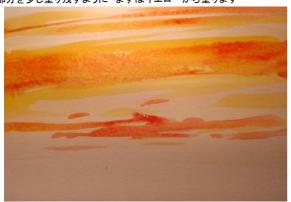
これが完成した絵です



1、まず ごく薄いジョンブリアン(肌色)を全体に塗っておきます 画像では少し濃く見 4、青・紫と重ねて 夕暮れの雲(空模様)を表現します 「偶然現れた模様」を大切に えますが 実際はもっと薄い色です しましょう



2、薄い部分を少し塗り残すように まずはイエローから塗ります



と重ねて、夕暮れの雪(空模様)を表現します、「偶然現れた模様

5、地面よりも先に 木立の幹を描いておきます 梢はできるだけ細い線で描きます



3、橙・赤と少しずつ濃い色を重ねます まだ乾かぬうちに重ねる部分と 乾いてから 6、木々の葉 遠くの木々も描きます 最後に地面もシルエットで描けば 完成です 重ねる部分があって良いと思います